

くらしき
kurashiki
市議会だより
Vol.142

発行
令和4年3月1日
議会事務局議事調査課
倉敷市西中新田 640
TEL (086) 426-3706
<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/gikai/>

倉敷市議会

検索



【11月定例会の概要】

- 市政のココが聞きたい (議員質問) P2
議案等審議状況 P6
市議会からのお知らせ P7
表紙写真の募集案内 P7

市議会アンケートのお願い P8
～アンケートへのご協力をお願いします～

今号の表紙写真

タイトル：「倉敷春宵あかり」

コメント：夜の倉敷美観地区一帯を、和傘や切子ちょうちん、影絵が静かに心を癒す時間を与えてくれました。

撮影者：亀山 照代 様

多数のご応募をいただき、ありがとうございました。
次回も皆様の力作をお待ちしております。
(P7をご覧ください)

11月定例会
質問

市政の
ココが
聞きたい

教育



青空市民クラブ
小郷ひな子



一人一台パソコンをふれあい教室
内でも活用してはどうか

一人一台パソコンのふれあい教室への持ち出しを認め、不登校の児童・生徒の学習に活用してはどうか。

市 ふれあい教室内でも活用
できるよう、準備を進めている

一人一台パソコンは原則、学校で活用するが、不登校の児童・生徒の学校復帰を目的とする適応指導教室であるふれあい教室でも、児童・生徒が活用できるように、すでに準備を進めている。



新風くらしき
尾崎 勝也



今後のオンライン学習の方針は

不登校を含めて、登校できない子への学習支援として、授業のストーリーミング配信が効果的と考える。



今後のオンライン学習の方針は。

市 家庭におけるオンライン
学習の環境整備について検正中

学校は、不登校などの児童・生徒の学校復帰を大前提に、丁寧な支援に取り組んでいる。市は、家庭でのオンライン学習の環境整備のため、パソコン持ち帰りの実証実験を行い、家庭の通信状況や教材の在り方を検証している。



新政クラブ
大橋 健良



教科担任制の実施方法と効果は

令和4年度から小学校高学年に導入予定の、教科担任制の実施方法と効果は。

市 国が実施例と、4点の効果
を示している

国が示す教科担任制の実施例は、学級担任間や、既存の専科教員と担任との間で授業を交換する方法。効果は、授業の質の向上や学習内容の理解度・定着度向上、小中学校間の円滑な接

続、多面的な児童理解、教師の負担軽減の4点が示されている。



新政クラブ
瀧本 寛



学校の芝生化が進まない
要因と今後の進め方は

学校の芝生化が進まない要因は。また、今後の進め方は。

市 芝生の維持管理が難しく
なっているため、負担軽減を図る

夏季の芝刈りや水やりなど負担が大きく、担い手の高齢化により地域のボランティアの協力が得られにくくなるなど、年々維持管理が難しくなっている。今後、芝生の植え付け場所や範囲について協議するなど、維持管理上の負担軽減を図り、事業が持続可能となるよう検討する。



未来クラブ
片山 貴光



倉敷翔南高等学校の施設整備を
早急に進めるべきでは

倉敷翔南高等学校は施設の老朽化が激しく、耐震化もされていない。早急に整備を進めるべきでは。

市 ソフト・ハード両面から、
具体的な整備手法などを検討中

老朽化は進んでいるが、定期点検や修繕などの必要な対策により、教育活動に支障のない学習環境を整備、提供している。今後の施設整備については、ソフト・ハードの両面から、具体的な整備手法などを検討している。

環境・観光・商工



日本共産党
倉敷市議会議員団
末田 正彦



脱炭素化に向けた、大口排出
事業者への対応は

水島コンビナートの大口CO2排出事業者に対し、市が2030年の削減目標を提示し設定させて、協定を結び、目標や計画を公表することが必要では。

市 事業者の取り組みと歩調を
合わせ、排出削減に力を入れる

事業者は、法に基づく自主行動計画などに従いCO2削減を図っており、こうした取り組みと歩調を合わせながら、民生部門からの排出削減に力を入れる。





公明党倉敷市議員
生水 耕二



PPAモデルによる太陽光発電の推進を

太陽光発電推進のため、戸建て住宅より面積が大きい工場や倉庫などの事業者にも、初期投資負担のないPPAモデルによる設置を働きかけてはどうか。

市民や事業者にPPAモデルのPRなどを積極的に行う

国はPPAモデルの周知、普及に取り組みしている。市も、太陽光発電の導入促進は重要と考えており、市民や事業者へ積極的にPR、お知らせしていく。
※PPAモデル（電気購入契約）：発電事業者が電力消費者の屋根などを借りて太陽光発電設備を設置し、消費者は発電された電力を購入する仕組み



日本共産党
倉敷市議会議員
田中 明子



滞在型観光推進のプロデュースを

1日で見きれない多くの観光資源の活用や、夜型観光による滞在型ツアーの実施など、さらなる観光推進に向け、市がプロデュースをできないか。

新しい夜景スポットの発掘

これまで夜型観光の推進にも取り組んできた。今年度は浅口市、里庄町、笠岡市と「美しい夜景フォトコンテスト」を実施し、新しい夜景スポットの発掘を行うなど、これまでと違う観光面の誘客にも力を入れていく。

これまでと違う観光面の誘客にも力を入れていく。



公明党倉敷市議員
仙田 貴孝



老舗企業への事業継続支援策は

老舗企業は、事業承継を諦め、廃業する場合もあると聞く。市が創業百年以上として認定、顕彰するときなどに、事業継続の支援に取り組んではどうか。

情報提供を行い、事業のさらなる継続、発展を支援する

認定、顕彰時など、さまざまな機会を捉えて、老舗企業から今後の事業展開や課題などを聞き取り、事業承継などの課題解決に向けた諸制度の情報提供を行うことで、事業のさらなる継続、発展の支援に努める。

保健福祉



未来クラブ
矢野 周子



手話言語条例制定を契機に、職員向けに手話の勉強会の開催を

11月議会で手話言語条例が制定予定である。条例制定後には、ろう者に寄り添う支援体制につながるよう、若手の職員に向けて手話を学ぶ勉強会を開催してはどうか。



窓口対応を行う部署などで研修の実施を検討する

手話が言語であるという認識の下、手話に対する理解を深めていくことが必要。条例制定後は、特に窓口対応を行う部署などで研修の実施を検討する。



日本共産党
倉敷市議会議員
田辺 牧美



障がい者に負担を強いる、ふじ園でのアセスメント実習廃止を

A型事業所のアセスメント力向上が必要なら、市などが事業所に出向いてアドバイスするなど工夫し、利用者に不要な負担を強いる法的根拠のないふじ園でのアセスメント実習は直ちに

必要に応じて内容を見直す

廃止すべきと考えるが、どうか。利用者が適切な支援を受けることができるように、A型事業所のアセスメント力向上の状況を見ながら、必要に応じて内容の見直しを行っていききたい。



公明党倉敷市議員
藪田 尊典



HPVワクチンの積極的勧奨再開後には、全対象者に周知を

HPVワクチンの積極的勧奨の再開後には、全対象者に国の方針変更や積極的勧奨の案内を、速やかに郵送で通知すべきでは。

国の方針に基づき、接種対象者に郵送でお知らせする

既に令和3年7月、予防接種番号記載の通知とリーフレットを対象者全員に郵送し、正しい知識を情報提供した。今後は国の方針に基づき、対象者に予診票などを同封し、お知らせする。



新風くらしき
平井 俊光



福祉支援連携室の役割は

新たに設置する「福祉支援連

携室」は、どのような役割を考
えているのか。

市 適切な対応ができる連携 体制の構築に取り組み

現在、複合的な課題を抱える
相談に対しては、関係機関が連
携し、対応している。「福祉支援
連携室」は関係機関の調整機能
をさらに強化するために設置し、
既存の仕組みや制度では支援し
づらい事例に適切な対応ができ
る連携体制の構築に取り組む。

まちづくり



新風くらしき
日向 豊



コンパクトシティの推進には 既存の規制の緩和が必要では

立地適正化計画における都市
機能誘導区域に、拠点となる施
設を誘致し、コンパクトシティ
を推進するには、容積率や建ぺい
率など既存の規制を緩和し、再
整備を促す施策が必要では。

市 施設の公共的な役割に 応じて検討する

個別の誘導施設（医療・商業施
設など）の立地促進には、補助
制度、税制、土地利用規制の緩

和などが有効とされる。施設の
公共的な役割に応じて検討する。



日本共産党
倉敷市議会議員
三宅 誠志



空き家対策の取り組み状況は

今後増加が予想される空き家
戸数の現状と、空き家対策にお
ける支援などの取り組み状況は。

市 適正管理の指導や除却支援 を行い、補助制度も創設

平成26年度の実態調査で空き
家は約7千7百戸。平成30年に
「倉敷市空家等対策計画」を策定
し、老朽化した空き家の所有者
に対する適正管理の指導や除却
支援に取り組んでいる。さらに
今年度、居住目的の改
修を支援するため「居
住誘導区域空家等改修
補助制度」を創設した。



くらしき創生クラブ
三村 英世



50戸連たん制度による開発 で残された農地の今後は

50戸連たん制度による開発で
残された農地は、地主の負担や、
農地集約の観点からも、これが

らも守るべき農地かどうか、い
ま一度考え直す時期ではないか。

市 背後地（開発行為で残された 農地）の取り扱い要件の見直しな どを検討する

背後地の取り扱い要件の見直
しや、荒廃した土地を再生利用
が困難な農地として判断するこ
とを検討する。

※50戸連たん制度：市街化を抑制する市
街化調整区域での開発許可制度の一つ



くらしき創生クラブ
難波 朋裕



頻繁な浸水箇所に早期の対策を

立地適正化計画で居住誘導す
るなら、頻繁に浸水する箇所を
早期に対策すべきでは。

市 新たな排水管を整備したり、 具体的な対策を検討している

市では、令和3年6月策定の
雨水管理総合計画で、第1期の
浸水対策を10年程度で行う予定。
また、浸水対策等総合調整会議
を設置し、居住誘導区域で早期
に浸水対策ができる箇所を検討
している。頻繁に浸水する箇所
には新たな排水を整備したり、
具体的な対策を検討している。



くらしき創生クラブ
伊東 裕紀



児島文化センターの今後の方針は

児島文化センターの総点検結
果は。また、今後の方針は。

市 現状での運用再開は難しく、 年度内に今後の方針を示す

点検の結果、構造体自体の老
朽化や損傷の程度が著しく、現
状での運用再開は難しい。耐震
補強や全面改修に約38億円かか
るコスト面、法定耐用年数、利
用状況などを踏まえたファシリ
ティーマネジ
メントの観点
から、年度内
に策定する公
共施設個別計
画の中で今後
の方針を示す。



今後の方針を待つ児島文化センター

農業・くらし・生活



新風くらしき
芦田 泰宏



玉野市と連携したイノシシの 捕獲活動のため、県に要請を

市南東部でイノシシ被害が増
えている。令和3年9月の鳥獣被

害防止特措法改正で、県は市の要請を受け、市町村間の連絡調整を行うなどと明記された。県に、同様に被害のある玉野市との連携協議を要請しては。

市 被害防止策の広域連携が進むよう、県に要望する

隣接自治体と共同での防止対策は有効と考える。被害防止策の広域連携が進むよう、連携協議の開催を含め、県に要望する。



公明党倉敷市議員
中西 善之



ジャンボタニシの被害防止対策は

ジャンボタニシの被害が拡大し、冬場の耕うん作業などでは駆除しきれない。過去に、市が実施したような市全体での駆除事業はできないか。

市 さらに啓発に努め、より効果的な防除方法を研究する

国は、冬期の耕うんや水路の泥上げなど、被害防止対策を組み合わせる地域が共同で駆除に取り組むことが有効としており、国の助成金も活用できる。今後、さらなる啓発に努め、また、より効果的な防除方法を研究する。



未来クラブ
原田 龍五



コメ販売農家への支援策の対象者と補助額は

米販売農家次期作応援事業の対象者と補助限度額の根拠は。

市 対象者は国の統計を基にし、補助額は市の他の支援策と同額

コメの作付け経費の一部を支援するもので、国が統計で3反以上を販売農家、3反未満を自給的農家と定義していることから、作付面積3反以上の個人・法人が対象。補助限度額は公平性を考慮し、市の事業継続特別支援金と同じ20万円とした。



公明党倉敷市議員
井出 妙子



防災備蓄品の運用、保管は

コロナ禍での避難所運営に有効なパーティションテントの運用・保管方法は。また、災害時の乳幼児などに配慮した、粉ミルクや液体ミルクの備蓄は。

市 分散備蓄やローリングストックでの備蓄などを検討中

パーティションテントは指定緊急避難場所などへの分散備蓄

を前提に購入を検討中。粉ミルクは公立保育園と連携してローリングストックでの備蓄を調整中で、液体ミルクの購入も検討している。

※ローリングストック：定期的に消費しながら、買いつけて管理する備蓄方法



公明党倉敷市議員
新垣 敦子



救命講習修了者へのグッズ提供は

救命講習修了者が自信を持って救命活動を行うため、周囲から講習修了者と認知され、一般の人にも協力を仰ぎやすくなるよう、講習修了者と分かるキャップなどのグッズを提供しては。

市 提供には十分な検討が必要

グッズの提供は、救命講習修了者であると周囲に知らせること、救命活動が円滑に行えるメリットがある。しかし、過度な期待などで逆にプレッシャーを感じる人もいるため、提供には十分な検討が必要と考える。



新政クラブ
大守 秀行



倉敷・高梁川流域マリッジサポートセンターの改善内容は

リニューアルした倉敷・高梁川流域マリッジサポートセンターの改善内容は。

市 他市でもシステムを利用でき、利便性が向上している

令和3年12月にリニューアルしたセンターのマッチングシステムは、AIがお見合い相手を推薦する機能などを備えている。また、新見市と笠岡市が新たに設置するサテライトセンターでもシステムを利用でき、利便性が向上している。



無党派
時尾 博幸



SDGs債発行の考えは

他市で、SDGsの取り組みを推進する資金の調達のため「SDGs 未来債」を発行している例がある。市もSDGsの推進に取り組んでいるが、SDGs債の発行についての考えは。

市 内容に合わせた住民参加型市場公募債の名称を検討する

市では、平成18年度から「倉敷よい子いっぱい債」を、令和元年度以降は「平成30年7月豪雨復興債」も併せて発行している。今後も内容に合わせた住民参加型市場公募債の名称を検討する。

● 市長提出議案など (予算案6件、条例案8件、事件案13件、専決1件、報告1件のうち主なものおよび賛否の分かれたものを掲載)

| 件名 | 結果 | 未 | 創 | 公 | 政 | 風 | 共 | 青 | 無 |
|---|------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和3年度倉敷市一般会計補正予算(第7号) 国民宿舎良寛荘について、令和4年4月からの指定管理者を公募により選定するための債務負担行為を設定。 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和3年度倉敷市一般会計補正予算(第8号) 新型コロナウイルス感染症対策として、第6波に備えるための経費の追加分、避難所にパーティションなどを整備する経費、本人や家族の感染により通学が困難になった児童・生徒の家庭学習を支援するための経費の追加分など、地域経済活性化策として、感染症対策やビジネスモデル多様化などに取り組む宿泊・文化観光施設や、ウィズコロナにおける新たなサービス開発などに取り組む旅行者、取組宣言飲食店の第三者認証取得などを支援する経費、コロナ禍での外食需要停滞による米価下落の影響を受けた主食用米の販売農家に、次期の作付け用種苗費などの一部を助成する経費など、また、マイナポータルで本人の健(検)診情報を閲覧可能とするためのシステム改修経費、市営駅前駐車場の防災設備などを更新するための負担金など、約11億9,800万円の増額を計上。 このほか、山陽ハイツ跡地を活用した(仮称)倉敷学校給食共同調理場・防災備蓄倉庫整備運営事業費や、倉敷運動公園などの管理運営委託料などについて債務負担の設定を行うとともに、適正な工期などを確保するための繰越明許費を併せて計上。 (×のところは、(仮称)倉敷学校給食共同調理場・防災備蓄倉庫整備運営事業費の債務負担行為の設定について、PFI手法は認められず、さらに、学校給食調理場整備は自校直営方式で行うべきであるとして反対。また、健康増進事業について、マイナンバーへの個人情報の紐づけを際限なく拡大することは認められないとして反対。) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 令和3年度倉敷市一般会計補正予算(第9号) 国が予備費による給付を決定した「子育て世帯臨時特別給付金」について、所得制限対象世帯を除く18歳以下の児童を養育する世帯に対し、対象児童1人につき5万円を給付する経費、約45億2,800万円の増額を計上。 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和3年度倉敷市一般会計補正予算(第10号) 上記の補正予算(第9号)で決定した「子育て世帯臨時特別給付金」について、国が現金一括給付を選択肢の一つとして示したことから、対象児童1人につき10万円を給付するための追加分として、45億円の増額を計上。 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 倉敷市手話言語条例の制定について 手話は意思疎通を図る手段であるだけでなく言語であるとの認識の下、日常生活および社会生活の中で、より手話を使用しやすい環境づくりを推進する必要があることから、全ての市民が共生することのできる地域社会を実現することを目的に、手話に対する理解の促進および手話の普及に関する基本理念を定め、市の責務ならびに市民および事業者の役割を明らかにするとともに、市が推進する施策の基本的事項などを定めるためのもの。 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 倉敷市印鑑登録及び証明に関する条例の改正について 印鑑登録証明書の自動交付を、マイナンバーカードを使用する方法に統一するなどのためのもの。 (×のところは、印鑑登録証明書の自動交付について、市民に親しまれてきた「くらしき市民カード」の利用を中止し、マイナンバーカードを使用する方法に統一することは、市民の利便性向上にならないとして反対。) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 倉敷市都市計画法に係る開発行為の許可等の基準に関する条例の廃止について 倉敷市都市計画マスタープランなどにおいて目指すコンパクトなまちづくりを推進するため、条例を廃止するもの。 (条例廃止に伴う経過措置の適切な期間を確保するため、開発許可申請の事前協議の申し出期限については、6カ月延長し、令和4年9月30日までとされたい、との意見を付して議決。) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

● 請願 (請願とは・・・市民の皆さまの市政に関する要望や意見)

| 件名 | 結果 | 未 | 創 | 公 | 政 | 風 | 共 | 青 | 無 |
|---|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 倉敷中央学校給食共同調理場でのアレルギー対応食の増加を求めることについて 倉敷市では、平成30年の1学期までは、アレルギー対応により、アレルギーのあるほとんどの児童・生徒が、家庭から代替食を持参することなく、皆と同じように給食を食べることができていた。しかし、現在は、アレルギー専用の調理室がある倉敷中央学校給食共同調理場でも、アレルギー対応食は「卵・牛乳・乳製品」の2種類のみであり、アレルギーのある児童・生徒が持参するお弁当は一律に冷蔵庫などで保管され、寒い冬でも冷たいまま食べることになる。早急にアレルギー対応食を増やし、家庭から代替食を持参する児童・生徒を減らしていくことを求める。 (×のところは、今後、アレルギーを持つ子どもが増えていく中で、個別にアレルギー対応のメニューを提供することは難しい、アレルギー対策を含め、将来を見据えて安全でおいしい給食づくりに取り組むべきなどの理由により反対。) | 不採択 | × | × | × | × | × | ○ | × | × |

会 派 構 成

| 【未来クラブ】 | 【くらしき 創生クラブ】 | 【公明党 倉敷市議団】 | 【新政クラブ】 | 【新 くらしき】 | 【日本共産党 倉敷市議 議員団】 | 【青空市民 クラブ】 | 【無会派】 |
|--|---|---|--|--|----------------------------------|-------------------------|---|
| 赤澤 幹温 大橋 賢 片山 貴光 原田 龍五 矢野 周子 山畑 滝男 若林 昭雄 ※中西 公仁 | 荒木 竜二 伊東 裕紀 北畠 克彦 難波 朋裕 三村 英世 森 守 守屋 弘志 | 井出 妙子 生水 耕二 梶田 省三 仙田 貴孝 中西 善之 新垣 敦子 藪田 尊典 | 大橋 健良 大守 秀行 塩津 孝明 瀧本 寛 松成 康昭 | 芦田 泰宏 尾崎 勝也 中島 光浩 日向 豊 平井 俊光 | 末田 正彦 田口 明子 田辺 牧美 三宅 誠志 | 小郷ひな子 齋藤武次郎 藤井 昭佐 | 塩津 学 時尾 博幸 藤原 薫子 ※秋田 安幸 今定例会欠席 (無会派：会派に属さない議員) |

議長のため
採決に加わらず

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 市議会からのお知らせ ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

* 市議会に傍聴に来られる皆様へ

【本会議・予算決算委員会】 定員64人（先着順）
低層棟4階傍聴席入り口で傍聴券に記入してご入場ください。
車いすスペースもあります。団体でお越しの場合は、3階の議会議務局受付で団体手続が可能です。

※定例会は年4回開催されます。臨時会が開催されることもあります。

【委員会（予算決算委員会を除く）】 定員5人
委員会開会の15分前までに議会議務局受付で傍聴受付票をご提出ください。希望者多数の場合は抽選になります。

※各常任委員会は月に1回程度開催されます。日程は、開催の約2週間前に決まり、ホームページなどでお知らせします。

なお、新型コロナウイルス感染症の状況などにより、対応を変更する場合がありますので、ご了承ください。

倉敷市議会 第1回定例会日程（予定）

| 月 | 日（曜日） | 会議日程 |
|---|--------------------------|-----------------------------------|
| 2 | 15（火） | 本会議：開会、3年度関係議案上程、提案理由説明 |
| | 16（水） | 本会議：3年度関係議案質疑、議決、4年度関係議案上程、提案理由説明 |
| | 22（火）、24（木） 2（水）～4（金） | 本会議：代表質問 本会議：質問 |
| 3 | 7（月） | 本会議：質問 委員会：予算決算 |
| | 8（火） | 委員会（予算決算分科会）：市民文教・文化産業 |
| | 9（水） | 委員会（予算決算分科会）：総務・建設消防 |
| | 10（木） | 委員会（予算決算分科会）：保健福祉・環境水道 |
| | 14（月） 16（水） | 委員会：予算決算 本会議：委員長報告、議決、閉会 |

※正式には開会予定日の1週間前に開催される議会運営委員会で決まります。

次号の表紙写真を募集します！！あなたのお気に入りの1枚をお送りください

あなたが撮った写真が「市議会だより」の表紙になります。テーマは自由です。市内のイベント、風景など、倉敷市の魅力あふれる写真をお送りください。採用になった作品は、次号の表紙に掲載いたします。

● 募集期間

（令和4年3月期募集） **令和4年3月1日（火）～令和4年3月22日（火）**

● 応募方法

- (1) 応募者氏名（ペンネームを希望される場合も連絡先と氏名が書いてあることが必要です。）
 - (2) 電話番号 (3) 撮影場所 (4) 作品タイトル (5) 作品へのコメント（※任意 50文字以内）
- を明記の上、写真データ（目安1MB～10MB）を提出してください。

【メールの場合】 必要事項を入力の上、写真データを cins-chosa@city.kurashiki.okayama.jp までお送りください。

【郵送の場合】 写真データを記録したCD-R等の記録メディアに、必要事項を記入した紙を添えて、〒710-8565 倉敷市西中新田640 倉敷市議会事務局議事調査課宛に郵送してください。

※必ず写真データで提出をお願いします。現像したものや印刷したもので提出の場合は掲載できません。
※ご応募いただいた写真データ等は返却いたしません。採用作品の発表は、紙面への掲載をもってかえさせていただきます。

（過去の表紙）



※詳しくは、市議会ホームページ（市議会だより表紙写真募集案内）をご覧ください。



みなさまからの
ご応募をお待ちしています！

アンケートのお願い

倉敷市議会では、市民にわかりやすく開かれた議会づくりに向けて、皆様の率直なご意見・ご要望をお伺いし、議会改革に反映させることを目的にアンケートを実施します。ご理解とご協力をお願いします。

《 締め切り 》

令和4年3月11日(金) 必着

ご協力よろしく
お願いします!



アンケート送付先・市議会に関するお問い合わせ

倉敷市議会事務局 議事調査課

〒710-8565 倉敷市西中新田640
TEL (086)426-3706 FAX (086)421-6700
メールアドレス cins-chosa@city.kurashiki.okayama.jp

* 質問項目 *

問1(1) 倉敷市議会に関心がありますか。

- A. 関心がある B. どちらかといえば関心がある
C. どちらかといえば関心がない D. 関心がない

(2) どのようなことに(なら)関心がありますか。

問2(1) 倉敷市議会をどのように評価しますか。

- A. 大いに評価する B. ある程度評価する
C. どちらともいえない D. あまり評価しない
E. 全く評価しない F. 分からない

(2) その理由は何ですか。

問3 倉敷市議会で議論された内容は何で知りましたか。(当てはまるもの全て)

- A. 議会だより B. 議会ホームページ(インターネット中継以外)・フェイスブック
C. インターネット中継 D. ケーブルテレビ放送 E. 新聞
F. 議員の情報発信(議員や会派のSNS・広報誌など)
G. 議論された内容を知らない H. その他

問4 倉敷市議会の充実・強化のために必要な取り組みは。(当てはまるもの全て)

- A. 行政チェック機能強化 B. 政策や制度の提案
C. 議員定数の見直し D. 議員報酬・政務活動費の見直し
E. 積極的な情報発信(議会だより・ホームページ等の充実)
F. 市民との意見交換 G. 議会のデジタル化の推進
H. 特になし I. その他

問5 倉敷市議会についてのご意見・ご要望を自由にお書きください。

* 回答方法 *

○はがきの場合

アンケート回答用紙に回答などをご記入の上、宛先と回答用紙をキリトリ線で切り離し、はがきに貼り付け、切手(63円)を貼って投函してください。

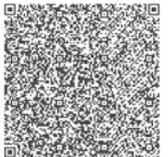
○FAXの場合

直接このページにご記入の上、FAXしてください。

○メールの場合

(次のいずれかの方法で送ってください)

- ・下のアンケート用紙に書き込み、写真を撮ってメールに添付
- ・アンケートの様式と議会事務局のアドレスを右のQRコードから入手し、メールに添付
- ・メールにアンケートの内容を直接書き入れ



同じ質問項目で、2月18日(金)~2月28日(月)の期間、市民モニターによるアンケートも実施しています。

※ 市民モニター制度のご案内
<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/monitor/>



(キリトリ)

〒710-8565

倉敷市西中新田640

倉敷市議会事務局 議事調査課 あて

(キリトリ)

アンケート回答用紙

※下記の該当する記号に○または記述でご回答ください

問1(1)A・B・C・D

(2) ()

問2(1)A・B・C・D・E・F

(2) ()

問3 A・B・C・D・E・F・G

H ()

問4 A・B・C・D・E・F・G・H

I ()

問5

| |
|--|
| |
|--|

年齢

20歳代以下・30歳代・40歳代・50歳代
60歳代・70歳代・80歳代・90歳代以上